

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

*2002年4月全面改訂(第2版)
1999年1月改訂

*貯法: 吸湿に注意し、室温保存。
使用期限: 3年(ラベルに表示の使用期限を参照すること。)

日本標準商品分類番号	
873133	
承認番号	14200AZZ04287
薬価収載	1967年7月
販売開始	1967年7月
再評価結果	1992年6月

ビタミンB剤 パントテン酸カルシウム散「マルイシ」(10%)

*【組成・性状】

有効成分	1g中 パントテン酸カルシウム 0.1g(10%)
添加物	乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース
性状	無臭でわずかに苦味のある白色微粒状の散剤である。

【効能・効果】

- パントテン酸欠乏症の予防及び治療、パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など)
- 下記疾患のうち、パントテン酸の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合(なお、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。)
ストレプトマイシン及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療、接触皮膚炎、急・慢性湿疹、弛緩性便秘

【用法・用量】

通常、成人にはパントテン酸カルシウムとして1日10~200mg(本剤:0.1~2g)を1~3回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

消化器 過量投与により、腹痛、下痢等(0.1%未満)があらわれることがある。

【薬効薬理】

パントテン酸は、体内で補酵素A(Coenzyme A)及び脂肪酸合成酵素複合体またはアシルキャリアプロテイン(ACP)となり、糖代謝、脂質代謝、たん白代謝等の生体内代謝に重要な役割を發揮する。¹⁾⁻³⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名: パントテン酸カルシウム(Calcium Pantothenate)

化学名: Monocalcium bis[3-(2R)-2,4-dihydroxy-3,3-dimethylbutanoylamino]propanoate]

分子式: $C_{18}H_{32}CaN_2O_{10}$

分子量: 476.53

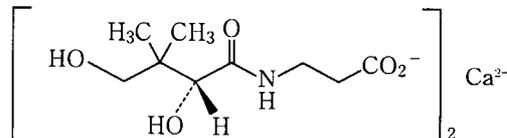
性状: 白色の粉末で、においはなく、味は苦い。

水に溶けやすく、エタノール(95)に極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品1.0gを水20mLに溶かした液のpHは、7.0~9.0である。

吸湿性である。

構造式:



【包装】

500g 1kg

【主要文献】

- 1) 熊谷 洋他: 臨床薬理学大系, 第13巻, 160(1978)
- 2) 三浦義彰訳: ハーパー生化学, 172(1980)
- 3) L. S. Goodman & A. Gilman: The Pharmacological Basis of Therapeutics (4th. Ed.), 1658(1970)

【文献請求先】

丸石製薬株式会社 学術情報部
〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-2
TEL.06-6964-3110(直通)

製造発売元
 丸石製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2-3-5